

令和3年度農業研修

アグリカレッジ福島では、令和3年度の各種研修を下記のとおり計画しています。各研修とも、受講対象者の要件が異なりますので、詳細については、研修部にお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。

【就農研修】

就農を希望する方や新規に就農された方を対象に、実習を中心に基礎を学ぶ「初級」と講義を中心とした「中級」を受講者の技術水準に応じて開講します。

【長期就農研修】

1年間、栽培技術及び経営技術を体系的に習得するための研修を行います。

【農産加工研修】

- 1. 基礎コース（全4回継続・年2回）
加工の初心者を対象に農産加工に必要な講義と実習を行います。
- 2. 応用コース（年1回）
よりレベルの高い商品の開発につなげるための研修を行います。

【農業機械研修】

- 1. 安全運転技術総合コース（けん引免許、大型特殊免許（農耕車限定））
各免許の取得に向けて、農作業安全の推進、トラクタの点検・整備及び安全運転・操作技術を研修します。
- 2. 技術向上コース
各種農業機械等の基本操作や整備点検、スマート農業について、それぞれ期日・対象者を分けて開講します。
- 3. 農作業安全推進コース（農作業安全・現地支援）
農作業の安全対策を学びます。

【公開講座】

農作物の栽培に興味をお持ちの皆さんを対象に、家庭菜園や草花栽培について、わかりやすく説明します。

- 1. 家庭菜園コース
- 2. 趣味の草花コース

※各研修の内容等については変更となる場合があります。
 ※問い合わせ先 アグリカレッジ福島研修部 0248-42-4114
 ※アグリカレッジ福島ホームページ（「アグリカレッジ福島」で検索）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37207a/> 【アグリカレッジ福島研修部 0248-42-4114】



研究成果発表会

令和2年度の研究成果発表会を3月2日（火）から9日（火）に開催します。分野別、地域別（浜、中、会津）に6会場で行います。WEB配信も行います。詳しくはホームページをご覧ください。



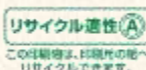
【企画経営部企画技術科 024-958-1700】

掲載して欲しい記事、日頃知りたいと思っている技術などの希望がありましたら、企画技術科までお寄せください。御希望は電話、FAX、メール、郵送いずれの方法でも受け付けます。（次回は令和3年6月発行）



（メール）

編集/発行：福島県農業総合センター
 〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道116番地
 TEL 024-958-1700 FAX:024-958-1726
 E-mail:nougyou.jouhou@pref.fukushima.lg.jp
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200a>



農業総合センターたより

第2号 (2021.2)



簡易雪室貯蔵試験に向けてのキャベツ収穫風景 (会津地域研究所)

- ・ 研究紹介 P.2
ー リンゴ福島8号の育成ー
- ・ 技術情報 P.2
ー 春先のモモせん孔細菌病対策ー
- ・ 研究紹介 P.3
ー エゴマ自動選別機の市販化ー
- ー 有機農業×スマート農業の実証ー
- ・ お知らせ P.4

研究
紹介

温暖な気象でも着色良好な 早生系統「リンゴ福島8号」の育成



成果詳細はこちら

リンゴは高温により着色が抑制されてしまうため、気温が高い夏場に収穫される「つがる」等の早生品種では赤色の着色が不安定となることがあります。本県のリンゴ産地は温暖な地域にあり、地球温暖化の影響も懸念されることから、気温に左右されずに綺麗に赤く色づく品種の開発が求められていました。新しく育成した「リンゴ福島8号」は、「つがる」とおおむね同時期の8月下旬から9月上旬頃に収穫でき、「つがる」の中でも着色が良い系統である「芳明つがる」と比べても色づきが優れています(図1)。

また、収穫1か月程前から着色が始まり、着色管理を簡略化しても全面に色が回り、高温条件であった直近の3か年とも濃く着色しています(図1)。

開花盛期は「ふじ」よりやや遅いですが、交配親和性があります。

果形は円錐形、果肉色は黄白、果皮色は暗赤色です。

果肉はやや粗く、果汁はやや少ないですが、甘味が強く、食味は良好です(表1)。

蜜入りはほとんど見られません。

心かびの発生は少ないです。

1℃または4℃冷蔵での貯蔵性は、「芳明つがる」よりも優れ、早生品種としては日持ちします。

今後は、現地(果樹農家の園地)での試作による品種特性や普及性の確認を行うなど、品種登録に向けた試験を行っていきます。



リンゴ福島8号



芳明つがる

図1 収穫時の果実写真
(2020.9.4撮影)

表1 「リンゴ福島8号」の果実品質(2017~2020年の平均値)

系統番号 品種名	台木	収穫期		果実重 (g)	糖度 (° Brix)	リンゴ酸 (g/100ml)	硬度 (lbs.)	地色 指数	デンプン 指数	果皮色
		始	盛							
リンゴ福島8号	JM7	8月28日	9月2日	323.4	13.7	0.26	14.2	5.3	3.1	0410 暗赤
芳明つがる	高接ぎ	8月28日	8月30日	212.0	12.6	0.26	13.9	3.9	2.6	0407 鮮赤

【果樹研究所 024-542-4951】

技術
情報

春先のモモせん孔細菌病対策

昨年はモモせん孔細菌病の発生が春先から多く、果実での被害も大きくなってしまいました。

せん孔細菌病の被害を減らすためには、春先(特に4~5月頃)の防除対策が重要となります。

特に伝染源となる春型枝病斑のせん除が極めて重要です。右図のように、春型枝病斑が発生した枝は可能な限り基部からせん除してください。

春型枝病斑は開花前から発生しますので、地域全体で病斑の早期発見とせん除を徹底して行い、本年の被害を減らしましょう。



【果樹研究所 024-542-4199】

研究
紹介

エゴマ自動選別機「福箕(ふくみ)」の市販化



成果詳細はこちら

従来、エゴマの選別は工程が多く非常に手間がかかるものでした。特に、エゴマと同じサイズ、重さの雑草種子は取り除くことが困難で、人がピンセットなどを用いて目視にて取り除いていました。

そこで、センターでは2016年から試作と研究を進め、ベルトコンベアを使用し斜面を転がすことで球体のエゴマとその他の雑草種子等とを選別する転選方式の選別機を開発しました。

この新方式での選別機が、郡山市産業創出課、福島県発明協会、郡山地域テクノポリス推進機構の協力によって、日ノ出工機株式会社の手で量産機化され、今年、エゴマ自動選別機「福箕(ふくみ)」として市販化される予定です。

この福箕は1時間あたり9kg以上の選別が可能で、エゴマに10%混入した雑草種子等を一度の選別で85%程度取り除くことが出来る性能があり、選別作業の省力化に貢献できるものとなりました。



図 エゴマ選別機(前面)

【企画経営部経営・農作業科 024-958-1714】

研究
紹介

「有機農業×スマート農業」実証中

水稲有機栽培では、抑草が生産性や品質に大きな影響を及ぼし、その作業には労力がかかります。そこで、スマート農業機器を活用して、各種作業の省力化や生産性・品質の高位平準化を図ることが可能か、広野町の株式会社新妻有機農園で実証しています。

雑草の抑制では、高精度水田用除草機による除草作業を3回行いましたが、延べ1時間/10a程度で作業することができ、大幅に省力・効率化しました。また、自動水管理システムでは、スマートフォンでの水位確認や水位ゲートの開閉が行え、深水管理を安定的に行うことにより、ノビエ等の雑草発生を概ね抑えることができました。

さらに、中山間地域では法面の草刈り作業が重労働で危険性も高いことから、自走リモコン草刈機による省力化に取り組みました。その作業能率は刈払機の1.3~1.6倍と高く、労働負荷も大幅に軽減され、実証者からは高い評価を得ています。

2021年も実証を行い、有機農業へのスマート農業機器の活用方法を検証していきます。



図1 除草作業(6月5日)



図2 自走リモコン草刈機(9月1日)

【有機農業推進室 024-958-1711】